

#0030 ゼッツー

GUNDAM FIX #0030 FIGURATION

DESIGN&DIRECTION Katoki Hajime

MODELING:Takanashi Rei (v) FINISHING:Sasai Hiroshi MARKING:Konno Yoji (v)
PHOTOGRAPH: Takase Yoji (Takase Photo Office) EXPLANATION: Watanabe Toshikuro (SHIMODOKU)
COMMERCIAL DESIGN: Ueno Daisuke (SANKI)



MSZ-008 ZIIは、「Zプロジェクト」に基づいて開発されたMSZ-006 Zガンダムの発展型可変MSである。先行して開発されていたMSA-005 メタスの可変構造などを取り入れ、豊富な変形機構を単純化することで、生産性や保蔵性を向上させている。MA形態時には空対地戦闘機としての運用が想定されており、加速性などは当時の標準的なMSを圧倒する。専用武装のメガビームライフルは、MA形態時に機体背面のジェネレーターと接続する構造となっており、エネルギーチャージを機体に行うことで、ハイパーメガガンナーにも匹敵する威力を発揮するなど、コストパフォーマンスも高く評価されていた。スペック的には当時のMSと比較しても遜色なく、量産に際しての信頼も少なからなかったため、生産予定までこなされたが、当時のエコーは財政的に逼迫しており、さらに多機能なMSZ-010 ZZガンダムの開発が優先されることとなった。そのため、プランそのものが廃棄となり、実機が製造されることはなかったとされている。

MSZ-008 ZII

ASSIGNMENT A.E.E.G. MODEL NUMBER MSZ-008
HEAD HEIGHT 18.3m WEIGHT 37.1t FULL EQUIPMENT WEIGHT 38.7t
GENERATOR OUTPUT 2.23MW PROPULSION ROCKET THRUSTERS 14,300kg
MATERIAL GUNDALUM Y SMOG ALUMI 14,300mm
ARMORMENTS BEAM SABER, WEGA BEAM RIFLE



WAVE RIDER

ZIIは大気圏突入および大気圏内での飛行能力を持たないが、空対地戦闘形態に特化するMA形態は、エコー3のフラッグシップMSであるZガンダムに匹敵し、便宜上ウェーブライダー(WR)形態と呼ばれる事が多い。



モビルスーツ形態から
ウェーブライダー形態へ変形可能。

ZII(ゼッツー)はガンダムの中で、Z-MOVといわれるジャンルに属しています。ZガンダムのTV放送が始まるまで、ホビー業界ではMSV(モビルスーツバリエーション)がブームでした。MSVとは1年戦争のモビルスーツの様々なバリエーションを考案する企画で、Zガンダムが始まる前、最終的な企画としてゼータMSVが発表されたのです。Z-MOVでは、MSVの企画によって、ゼータに登場するMSの製作機や塗装が統一されたことによってデザインが統一されました。ZIIはそのなかからZの開発基盤というイメージのある機体です。しかし残念なことにそれは商品化される事は無く、翌年放送されたゼータの続編に登場したガンダムは、Zガンダムという名前がつけられなかったガンダムフィックス・フィギュレーションではこれまでもZ-MOVからフルアーマーMS-5が商品化された事もありましたが、今回はZIIはZのバリエーションと見なされ、豪華なカラーセットだったZIIとは正反対の、エコー3の機体だったデザインにZIIからは、ZIIとは異なる別の世界が見えて来るはずです。

デザイナー・カトキハジメ